

スポーツ少年団 Q & A

Q 何歳から登録できるの？

A 登録は登録する年の4月1日現在満3歳以上となっています。スポーツが得意な子どもだけでなく、運動が苦手な子どもでも男女問わず大歓迎です。もちろん、中学生や高校生の登録も可能です。令和元(2019)年度現在、中学生以上の団員は約9万人。その中には、スポーツを楽しみながら団員のリーダーとして活動し、将来の指導者を目指す人もいます。

Q どんなところで活動しているの？

A 主に近くの学校のグラウンドや体育館で活動を行います。近隣の団体と合同で活動する場合は場所を変更することもあります。試合などがない限り基本的に同じ場所で行います。もし、放課後や土曜日、または日曜日にそれらの場所でスポーツをしている団体を見かけたら、それがスポーツ少年団かもしれません。

Q どんな人々が支えているの？

A 基本的に、地域の人々によって支えられています。それぞれのスポーツ少年団の組織構成としては、「団員」、「指導者」、「役員・スタッフ」、保護者や地域住民からなる「育成母集団」、団員をまとめ指導者の補助的な役割もする「団員(リーダー)」に分けられます。多くの人々が、それぞれの立場で活動の運営や支援を行っています。

Q どんな人が指導者になっているの？

A 指導者には、スポーツなどの実技を指導する人、団の運営を担当する人、地域との協力を図る人などさまざまなタイプがあります。地域に住むスポーツ指導者やスポーツ少年団出身者、団員の保護者などが指導にあたっています。それぞれの団には、日本スポーツ協会が定める資格を有する指導者が2名以上いるので安心して活動することができます。

スポーツ少年団の活動への参加者募集 !!

地域でどのような単位スポーツ少年団が活動しているかについては、お住まいの市区町村スポーツ少年団事務局までお問い合わせください。



日本スポーツ少年団ホームページ →

スポーツ少年団

検索

●お問い合わせ先



公益財団法人
日本スポーツ協会

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE

TEL 03-6910-5814 (少年団課) FAX 03-6910-5820 E-mail jjsa@japan-sports.or.jp

(平日 9:30~12:00、13:00~17:30)

スポーツ少年団のご案内

スポーツは 一生のトモダチ

「スポーツ少年団」は、日本最大の青少年スポーツ団体です。



中村 憲剛 選手 [東京都府ロク少年団出身]
©KAWASAKI FRONTALE



松友 美佐紀 選手
[徳島県藍住エンジェルススポーツ少年団出身]
©日本ユニース



公益財団法人日本スポーツ協会 日本スポーツ少年団

全国の子どもたちが、スポーツを通して 「こころとからだの成長」を 体感しています

たくさんの
スポーツから種目を選べるのも魅力！！

日本スポーツ少年団概要

創設 昭和37(1962)年
団数 約3万1千団
団員数 約65万人
種目 60種以上

平成24(2012)年に創設50周年を迎えた日本最大の青少年スポーツ団体です。

・アーチェリー	・サッカー	・ソフトボール	・馬術	・ホッケー
・合気道	・山岳	・太鼓	・バスケットボール	・ミニバレーボール
・アイスホッケー	・銃剣道	・体操	・バドミントン	・野外活動
・ウェイトリフティング	・柔道	・卓球	・バトントワリング	・野球
・エアロビック	・少林寺拳法	・綱引	・バレーボール	・ラグビーフットボール
・カーリング	・水泳	・ティーボール	・ハンドボール	・リーダー会等
・カヌー	・スキー	・テニス	・フェンシング	・陸上競技
・空手道	・スケート	・ドッジボール	・複合種目	・レスリング
・弓道	・スポーツチャンバラ	・トライアスロン	・武術太極拳	・ローラースケート
・ゲートボール	・相撲	・トランポリン	・フットベースボール	・その他
・剣道	・セーリング	・なぎなた	・ボウリング	
・鼓笛	・ソフトテニス	・軟式野球	・ボート	
・ゴルフ	・ソフトバレーボール	・日本拳法	・ボクシング	

※複合種目とは数種類のスポーツを併行して行ったり、季節ごとに変えたりして活動を行う形態のことです。

令和元年(2019)年度現在スポーツ少年団は、約65万人の子どもが地域の協力によって全国各地の約3万1千団で活動しています。
その中で、子どもたちは、60種以上もあるスポーツを楽しみ、
その活動を通して成長する過程で必要な多くのことを学び、経験しているのです。

スポーツの遊び

「競う」だけではなく
「楽しむスポーツ」
が目標です

成長が著しい子ども時代には、まずからだを動かすことの楽しさや遊びを知ることが大切です。
基礎的な運動能力や運動習慣を身につけ、生涯にわたってスポーツを楽しむ基盤を作りたいと願っています。



情操教育

仲間との集団行動が
「こころの成長」につながります

スポーツだけでなく、
野外活動や社会活動、
文化活動など多岐にわたる活動を通して、子どもは協調性や創造性を養い、社会のルールや思いやりのこころを学んでいきます。これらが「こころの成長」を促します。



地域とのつながり

「地域のキズナ」のなかで
子どもを支援する組織です

スポーツ少年団は、全国20万人の地域の人々の手によって支えられています。このスポーツを通じたネットワークの広がりが、地域内の交流を活発にし、よりよい地域作りにも繋がっています。



スポーツ少年団の活動例

競技別のスポーツ活動の他に、さまざまな活動を通して、子どもたちは多くのことを学びます。

ココが成長!!
からだを動かすことの遊びを知る
家でゲームなどをして遊ぶことが多くなりがちの現代。スポーツ少年団に入ると友達も増えて、定期的に外で思いっきり動き回ることの楽しさを覚えます。



野外活動
キャンプやハイキングも行います



ココが成長!!
コミュニケーション能力や
思いやりのこころを養う
リーダースクールでの学習や単位団の活動などを通して、仲間や指導者との意志疎通の取り方や、年下の団員の面倒の見方などを学んでいきます。

クリスマス会

遠征に出かけるなど、
他の単位団との交流も!

文化・学習活動
教養を身につけるために、
スポーツの歴史やルールを学ぶ機会も

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

運動適性テストII

習慣化する運動
1日2~3時間程度/
週2、3回の練習が目安です。

礼儀やあいさつの仕方を学ぶ
指導者や保護者をはじめとする大人、学年の違う友達と交わることで、目上の人を敬う態度や感謝のこころ、あいさつの大切さを学びます。

ココが成長!!



社会活動
地域にある公園の掃除をする
などの奉仕活動にも積極的

運動適性テストII

自ら動く積極性ができます
団体の中で生活をし、交流試合などで新しい人との出会いも増えることで、自らの意見を主張する自主性や価値観が育っていきます。

ココが成長!!



※全国的なイベントとして、8月には全国スポーツ少年大会や競技別交流大会(軟式野球)、シニア・リーダースクール、ドイツや中国の青少年との国際交流、12月には競技別交流大会(ホッケー、サッカー)、3月には競技別交流大会(剣道、バレーボール)などが開催されます

※令和元年(2019)年度現在